

Salon d' AALA

サロン

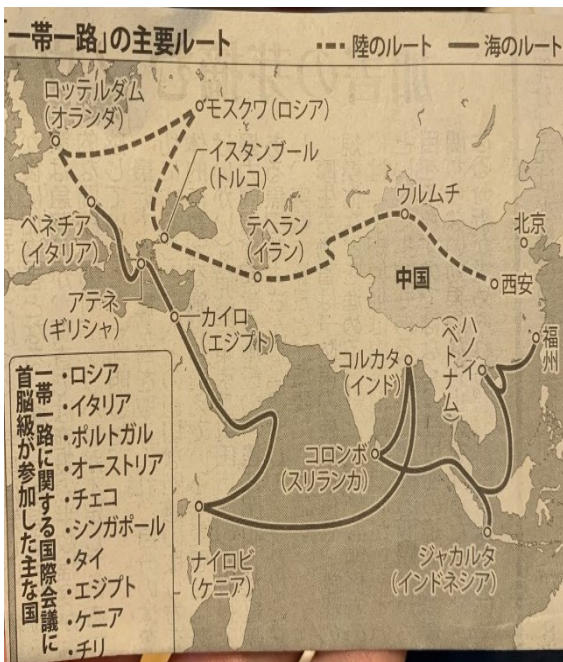
ダーラ

2019. 6. 1.

No.115

中国を見つめて

加藤 明美



今の中国は、経済大国第二位に登りつめました。これからの中国は一带一路で世界を制覇するのでしょうか？

42年前から訪中を始めた私の記憶にあるのは、「新中国」と呼ばれ、針一本も盗まない精神の中国人が多くおられるとのことでした。北京の中心地長安街では、全くと言ってよいほど、車が見当たらず、4年後の西安でも、うす暗く、道のみが広く、百貨店のショーウインドウは、品物があまり並んでいませんでした。女性たちは、お化粧することすらありませんでした。「老鼠」…老はいつもの意味…即ちいつも紺かネズミ色か黒っぽい色の服装を着ておられました。

この当時中国は、当時のソビエトの覇権に怒りを持ち、絶交状態でした。その中でも、たまたま、私が宿泊した北京郊外の“友誼賓館”は、旧ソビエト人が建てた高級ホテルでしたが、中、ソの折り合いが悪くなり、技術者達は引き上げ、帰国しましたが、良心のある設計士は、改修の時、図面が必要だろうと机の引き出しに入れてあったと、美談として、話されたことには、一抹の安堵感を持った記憶が少し残っています。

中国は、“覇権嫌い”だという思いを抱いて、ずっと中国を見続けてきましたが、私のその中国に対する目の輝きが失せてきました。

特に、それは2016年頃から、国内では、人権問題、非民主主義等危惧することが、一段と進み、国外へは、一带一路と名打って「シルクロード、経済ベルト」がスリランカにみるように、「債務の罠」に陥る国々がでてくるのでは…と懸念しております。

例えば、国内では「消し去られた記録」城山英巳著白水社でみるように、庶民が、民主主義を訴えようとすれば、問題あと、共産党当局が、その人達を拘束します。これに対し、人権派の弁護士達は、異議を唱え、釈放を求め、当局に訴えれば、即手荒く彼等をも拘束します。そして体罰をするか、どこかへ連れて行って、行方不明者とするのです。当局は、中国社会で影響力と存在感をもつ弁護士達を公式の裁判もなしに。体罰をする人も、上からの命

令で、宙吊りにしたり、睡眠妨害で、何日も寝させない。水攻めの場合もあります。若し、弁護士達が体罰をするのを拒否すれば、今度は、自分が迫害を受けるのです。全く恐ろしい国です。

また一方で、私の最も大切な北京の友人は、ひとり娘さんを事故で亡くしたのです。中国は、社会保障があまり進んでないので、老後が心配です。「独生子」…一人っ子政策が1978年～2016年まで28年間続きました。この独生子を病気や事故、自殺で亡くした人達は、「政策」で二人目の子供が産めなかったので、国が我々の面倒を見て欲しいと訴えれば、中国当局から、睨まれ、疎まれるのです。

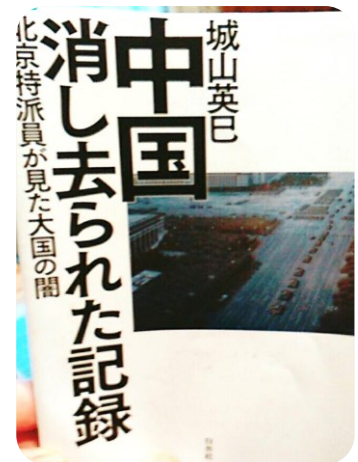
一方国外へと目を向ければ、一带一路があり、陸のシルクロード、海のシルクロードと色んな国々を巻き込んで、世界を線で結び、それ等の国々と物資を運び豊かになってもらう想定です。中国は、各国のインフラを整えようと海外へ尽力しているとよく話されます。

でも、私が、7年前になります、ラオスに友人四人と旅をし、北部の古都「ルアンパバン」に行きました。

悠久の歴史があり、美しい寺々が、黄金色で飾られていました。50人余り列を作って、毎朝の行事となっている托鉢を見るのに、外国の観光客も多く、なるほど世界遺産になっているのだなあと思いました。楽しく昼食をとるべきレストランに入り、一息ついていまして、突然ガヤガヤと入ってくる中国人に出くわしました。作業服を着た50人位のグループです。私は、違和感を持ちました。ガイドさんに尋ねると、中国の技術で、今ダムを作っているのだが、中国人は、労働者まで連れてくる。ラオスにも失業者が多く困っているのにと不満をたっぷり言われ、私達日本人に苦情を告げられました。

中国の国家は、どこまで厚顔なのでしょう？ 全世界のあちこちから、マスコミを通じてよく耳にします。

私の大好きな、そしてアツという間に日本を追い越した中国。でも私は、少し疑念を持つようになった昨今ですが、古き良き中国の友人達は、北京や上海、西安、広州で再会を、と待っていてくださっています。つついいたくなる国でもあります。



フ ラ ッ シ ュ

◎ ベネズエラ総選挙前倒し示唆

【サンパウロ=時事】

ベネズエラからの報道によると、同国のマドウロ大統領は20日、野党が多数を占める国会の選挙前倒しを示唆。同氏は親政府派デモで「過去5年間、合法化されてこなかった唯一の機関を合法化しよう」と述べました。

◎ サウジ、西部でミサイル迎撃

【カイロ=時事】

イエメン内戦に軍事介入しているサウジアラビア主導の連合軍は23日、イエメンの反政府武装組織フーシ派がサウジ南部ナジュウランに向けて飛行させた爆発物搭載の無人機を撃墜したと発表しました。サウジ国営通信が伝えました。

「宛名シール」提供に思う

山下 綾子（弁護士）

市町村と徴兵事務

先日テレビであるドラマを見ました。子どもの居ないある研究者とその妻が親を失った孤児を施設から1人また1人と引き取り、ついに5人も引き取って育てる物語で、戦争中で食料も不足し、妻も病弱でしたが、愛情豊かに育てていました。ところが或る日その研究者に赤紙が来ます。それを持って来た役場の担当者は、本当に申し訳なさそうに同情をこめて、しかし、職務上渡さなければならない辛さをにじませて主人公に渡します。この家庭環境の中で唯一の働き手をとられてどうするのか見ている方も一瞬どきりとしました。先の戦争で召集令状を配り、徴兵手続をするのは市町村に課せられた役目でした。

今回京都市が高卒、大卒年齢の18歳と22歳28000人の名前と住所をシールにして自衛隊に提供することを知り、先のドラマのシーンが浮かびました。

憲法、個人情報保護法、京都市個人情報保護条例上の問題

住所氏名年齢といった個人情報や私生活を公開されない自由は、憲法13条の個人の尊厳、生命、自由の権利として保障されています。

また個人情報保護法は、国や地方公共団体の責務として、個人情報の適正な取り扱いを確保するために必要な施策を策定、実施すべきことを定めています。これを受けて京都市は、個人情報保護条例を定めています。そこでは法令に定めがある例外の場合を除き、本人の同意なく個人情報を提供することを禁じています。

今回京都市のシール提供行為は、上記憲法、法律、条例の趣旨に反するもので、直ちに中止すべきものと考えます。特に安倍政権のもとで集団的自衛権が適法とされ、海外の戦場に出向く若者のことを考えると、その手助けを積極的に行う京都市の行為に怒りを覚えます。

付度のおそれ

安倍首相は、「自治体の6割以上が自衛隊員募集の協力を拒否している」などと事実無根の主張をし、「この状況を変えるためには憲法にしっかりと自衛隊と明記する必要がある」とまで述べています。

実際は多くの自治体が自衛隊に対し名簿を開示しています。開示の方法には、名簿を閲覧させたり、書き写させたりする方法も当然含まれます。

従って、京都市のようにシールにして提供までするサービスはしなくても、協力を拒否

したことになるのは勿論です。

しかし、安倍発言のあと、名簿提供の自治体が増えつつあり、安倍一強のもと、付度を
する自治体が現れることが憂慮されます。

先の戦争は、市町村などの自治体が戸籍から徴兵の名簿を作り、徴兵検査をし、赤紙を
配るなどして、無謀な戦争の下支えをしました。この反省を国も自治体も決して忘れて欲
しくありません。

ご無沙汰しています。

メキシコより ユルギ昇



6月10日から京都駅の近くでグループ展に参加します。

機会がありましたら立ち寄って下さい。 Enviado desde mi iPad

同じ刻を生きる作家展^と2019

同じ刻を生きる作家展実行委員長 宗 由美子

作品募集要項

このたび、下記の通り「同じ刻を生きる作家展2018」を開催することとなりました。
今回で4回目となるこの展覧会は、幅広く多様な作家に呼びかけ、この時代を反映した
作品を展示していきたいと思っています。
また、会場となる元・崇仁小学校は、今後京都の新しいアートゾーンとして展開されて
いくエリアにあり、作家さんたちと地域の方々との交流も目指しています。

内容をよくお読みいただき、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

会期 2019年6月10日(月)～6月16日(日)

会場 京都市立 元・崇仁小学校 校舎 他
(京都市下京区塩小路通河原町東入ル川端町16)

搬入 6月9日(日)10時～12時 展示作業 13時～17時

搬出 6月16日(日)16時～17時

募集形式 自由出品

参加費 3,000円

作品形式 自由

※但し、におい、粉末、生物、液体など
通常美術館に展示できないようなものはご相談ください。

作品サイズ 平面 幅 約1.5m × 高さ 約1.5m以内

立体 容積1m³程度

※いずれの場合も大きな作品をお考えの方はご相談ください。

募集期間 第一次締め切り 2019年5月15日

主催 同じ刻を生きる作家展実行委員会・京都アートカウンシル

後援 日本美術会、京都LINKプロジェクト(申請中)

会場見学ツアーを開催します!
4月13日(土)15:00～
元・崇仁小学校 塩小路通側校門に集合